



吉田芳春 議員

学校給食費の無料化について

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として町内の小中学校が長期臨時休校となり、子どもの食事を用意する負担が増加した保護者への支援策として、6月定例会で執行部から補正予算が提案され、5月から12月分までの学校給食費が無償となったが、和木町や岩国市では、通年の学校給食費の完全無料化に取り組んでおり、全国でも実施や検討中の自治体が多くある。子どもは社会の宝であり、地域全体で育てるために、子どもを産み育て易い環境整備を図る

必要がある。

保護者が経済的に困窮し、十分に食事が取れない「子どもの貧困」が社会問題化する中、栄養ある日々の給食を無償提供することで、子育て家庭を支援し、子どもの成長を支えるため、本町においても学校給食費の完全無償化に取り組むことについて、教育委員会の見解を問う。

答 町内の小中学校は、学校一斉臨時休業の措置をとっていたが、政府発出の緊急事態宣言が5月14日に解除されたため、5月18日から登校を再開し、5月25日から学校給食を再開した。



休校解除後、元気に登校する児童の皆さん

保護者の負担を軽減すべく、今定例会で本年5月から12月まで、8か月分の学校給食費を無償とするための補正予算をご議決いただき、対応を進めているところである。

また、和木町、岩国市が、学校給食費の無償化を実施していることは承知しているが、教育委員会としては、給食費の無償化等を含めた子育て支援を理解する一方、年間約3,400万円の経費がかかることから、必要な財源の確保など慎重に検討すべき課題と捉えている。

オンライン学習の推進 タブレットを1人一台に！

問 小中学校の休校が長期化され、情報通信技術の活用による学習指導を推進するタブレットなどの整備を図り、教育の地域格差を解消していくことが求められている。

子どもたちが安心して学習

を継続するため、そして感染予防対策として自宅で通信環境が整っていない児童生徒に、この度整備された1人一台のタブレット等を貸与し、インターネット回線で学校と家庭をつないだオンライン学習の実用化を図る取り組みについて教育委員会の見解を問う。

答 令和元年度3月補正で校内LAN等の整備とともに、国が示した小学校5・6年生と中学校1年生のタブレット整備において、現在、本年8月までの納入に向け準備を進めている。

さらに、令和3年度から令和5年度までに段階的に整備予定であった小学校1年生から4年生、中学校2・3年生のタブレット整備についても前倒しして児童生徒1人一台となるタブレットの整備を進めている。

また、インターネット環境の無い家庭にもタブレットを貸与し、オンライン学習が可能となるよう準備を進めている。